

チリ 2024年の柑橘類輸出量は約40万トン

[FreshPlaza](#) 2025年2月5日

チリ柑橘類委員会は、同国が昨年、2023年の39万9,824トンをわずかに下回る39万7,417トンの柑橘類を輸出したと発表した。

米国は引き続き、チリの柑橘類の最大の輸入国であり、2024年にはクレメンタイン5万353トン、レモン6万467トン、マンダリン12万8,958トン、オレンジ9万7,602トンを入力した。もう一つの重要な輸出先は日本で、2024年シーズンのレモン輸出の重要な市場として位置付けられた。

チリ柑橘類委員会のモンセラート・バレンズエラ事務局長は、「2024年シーズンの始まりは、特に第IV州(コキンボ州)での柑橘類への干ばつの影響が特徴的であった。雨が降ったのはクレメンタインの収穫の開始後で、収量に影響を与えた」と述べた。(以下「」は同氏の話)

「チリには4千ヘクタールのクレメンタイン農場があり、天然資源情報センター(CIREN)によると、その70%が第IV州にある。レモンは2022年の霜害から回復し、輸出の増加につながっている。」

「米国はチリ産柑橘類の主要な輸出市場である。2024年シーズンには、チリが輸出するクレメンタインの98%、マンダリンの95%、オレンジの93%、レモンの63%を米国が輸入した。レモンは日本と韓国にも市場があり、それぞれ2万1千トン及び1万200トンを入力した。」

「我々の主な競争相手は、南アフリカ、オーストラリア、アルゼンチン、ペルー、ウルグアイなどの南半球の生産国である。南アフリカとオーストラリアは高品質のオレンジを供給している。アルゼンチンと南アフリカは、レモン市場の強力なプレーヤーである。ペルーは、ソフト柑橘類市場で確固たる地位を築いている。米国市場に依存しないよう、我々は新しい市場を開拓する必要がある。」

同委員会は、様々な市場で販促活動を実施しており、近年では消費動向に添ったキャンペーンを展開している。「需要と供給のプロファイルは大きく変わった。柑橘類は365日入手可能で、チリ産柑橘類は北半球が夏の間、増大する需要に向けて供給している。」

「今シーズンは、強力なデジタル販促キャンペーンを開始した。インスタグラム、TikTok、フェイスブックへの投稿等を行い、消費を奨励するためのコンペも実施した。また、チリ産柑橘類を使用した創造的で健康的なレシピのビデオや、チリの柑橘類の生産輸出段階のビデオも共有した。これらすべてのコンテンツは、柑橘類業界が持続可能性、技術、革新に取り組んでいることを強調し、チリを柑橘類の信頼できる供給者として取り上げている。」

出典: [simfruit.cl](#)